

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-387-1150
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	北区	組織名(準部・課・機関名)	地域総務課
組織の目的	コミュニティ協議会をはじめとする、地域活動への支援を行い、協働して地域の活性化につなげます。区民が安心・安全に暮らせるまちづくりを目指し、地域防災力の強化を支援します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	令和4年10月1日
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		区民と行政が区の将来像を共有し、お互いに役割を分担しながら、まちづくりを進めるため、協働で、まちづくりの方向性を策定します	・現区ビジョンまちづくり計画の評価 ・地域ニーズ等を踏まえた、次期期間のまちづくり計画の見直し	・区ビジョン基本方針の策定 ・区ビジョンまちづくり計画の策定	—	—	区ビジョン基本方針策定	まちづくり計画策定	まちづくり計画策定	2022年度に現行の現行の区ビジョンまちづくり計画期間が終了することから、新たな基本方針、まちづくり計画を地域改題やニーズ等踏まえ策定を進めます。	区民や活動団体、中高生へのアンケート、大学生ワークショップ、自治協議会特別部会での意見聴取など、広く区民の声を聴き参考にしながら検討しました。また、内部では、プロジェクトチームを設置し協議を重ねました。	達成
2		地域の自主防災力の強化を図ります。	・全避難所での運営体制構築を目指し、各コミ協単位でモデルとなる新たな運営組織の立ち上げを支援	避難所運営組織数	—	—	5	7	11	・新たな避難所運営組織の立ち上げに向けたワークショップの開催と避難訓練の企画運営を支援します。 ※R4現在37避難所	区づくり事業「高めよう互近所力」地域でつくる避難生活運営体制事業により、岡方・濁川両地区の6避難所について、実効性のある避難所運営組織の立ち上げを支援しました。	達成
3		自治会・町内会、地域コミュニティ協議会、市民団体などとの協働により地域課題を解決します。	・地域活動補助金 ・コミ協運営助成金 ・コミ協等への支援(助言等)	協働した団体数	31	19	21	22	18	・団体実数	全11コミ協へは補助金交付を通じて協働したが、その他の団体については、R3年度で地域活動補助金の交付が3年を迎えた団体が多かったことに加え、新たな団体も発掘できなかったため、目標を下回りました。	一部未達成
4		職員の働き方を見直し、時間外勤務の抑制とワークライフバランスの充実を図ります。	・定時退庁推進日、ワークライフバランス推進日の実施 ・全体課長会議を通じた、時間外勤務状況の把握	定時退庁推進日実施率(%)	50.4	85.9	77	50	48.2	・3度の選挙が予定されているため、期日前投票期間などを踏まえ、勤務にメリハリをつけ、ワークライフバランスの充実を図ります。 2022年9月30日：上半期2度の選挙による準備事務、新型コロナウイルス感染症に係る事務増等により当初の見込みを上回る時間外勤務と未実施が生じたことから目標値を修正しました。	下半期、改善は見られたが選挙事務や感染症対策等による時間外勤務により、最終的に、実施率50%を達成することができませんでした。(選挙事務の期間を除いた実施率は、54%でした。)	未達成
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
災害による避難生活が中長期に及ぶ場合には、地域住民が主体となり、行政と協力しながら避難所を運営することが求められることから、コミュニティ協議会と協力しながら、各地域でモデルとなる運営組織を立ち上げ、地域防災力の向上を目指します。  令和3年度策定した、区ビジョン基本方針に基づき、次期区ビジョンまちづくり計画の策定を区自治協議会や地域の意見等を反映させながら進めます。	“自治会役員だけでなく、地域の多様なひとたちから参加してもらうことで、地域で防災活動に取り組むことの意識啓発と機運醸成がはかられました。コミ協と協力しながらの避難所運営体制の立ち上げは達成したので、今後は今年度の実績を活かしながら、他地区での同事業の実施や、立ち上げた地区が主体的に防災活動を継続していけるような支援に引き続き努めます。” 令和4年度には、コミュニティ協議会総会等での説明・意見聴取、中学生・高校生へのアンケート、大学生のワークショップ、区自治協議会特別部会での意見聴取(3回)など、地域の意見を反映させ、内容を検討しました。今後は、本計画について区民の方々に周知を図るとともに、実施計画に従い、区の将来像に近づけるよう事業に取り組んでまいります。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-386-1081
------------	--------------

年度	令和4年度
組織名(部)	北区
組織名(準部・課・機関名)	地域総務課 (北区郷土博物館)
組織の目的	「新潟市北区郷土博物館」は、博物館法第2条第1項に規定する博物館として、北区の考古、歴史、民俗、美術等に関する資料の収集、保管、調査研究及び展示等の事業を行います。その成果を市民の教育及び芸術・文化の向上につなげます。

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		常設展及び、常設のテーマを深化・拡大した企画展の充実を図ります。そして、それらに関連するさまざまな事業を多角的に行うことにより、北区民の地域への関心を高めるとともに、一体感を醸成するよう努めます。さらには、郷土芸能の伝承を支援します。	・常設展拡大企画「昭和のくらし展6」及び「昭和のくらし展7」の開催、常設展示拡大スペース「葛塚織コーナー」のオープン ・北区区づくり事業 2022木崎村小作争議100周年事業「生活の向上を目指した小作農民と地主真嶋桂次郎」展の開催、合わせて関連事業の実施 ・美術企画「アートの世界を楽しむ」展の開催 ・小学校のふるさと学習の利用(学習サポートの実施) ・(小中学生公募)「松蔭賞書道展」、「北区こども科学展」など、小・中学生のコンクール展の要項見直し	年間入館者数及び事業参加者数(人)	9,068 (入館者: 8,895人、 館外事業 参加者: 173人)	6,497 (入館者: 6,242人、 館外事業 参加者: 255人)	7,478人 (入館者: 7,171人、 館外事業 参加者: 307人)	5,300人	5,630人 (入館者: 5,201人、館 外事業参加 者:429人)	・常設展拡大企画展の開催 ・2022木崎村小作争議100周年事業企画展示・関連事業の実施 ・小学校のふるさと学習(学習サポートの実施)の利用拡大 ・美術企画展の開催 ・博物館まつり、松蔭賞書道展、こども科学展は、100周年事業展示会の会期を延長することから、事業を休止し、この間に見直しを行います。 また、分館の解体工事を実施するため、2か月間休館します。事業を休止することと休館期間を設けることから、令和4年度入館者数は、令和3年度入館者数の3/4程度の入館者数とします。	・昭和のくらし展「日々をいろいろる「食」の風景」、「着るたのしみ、装うたのしみ」展を開催しました。 ・2022木崎村小作争議100周年事業として、企画展示の開催、関連事業として、講演会、ゆかりの地を巡る見学会や、後世への伝承を目的とした中学生見学会を実施し、市内外から多くの方が来館・参加した。 ・美術企画「アートの世界を楽しむ」展では、作品鑑賞会のほか、新たな試みとして、ワークショップも開催し、多くの方々から美術を身近に感じて、楽しんでいただく機会となりました。 ・資料館の解体工事期間の11月・12月、閉館しましたが、この間に事業の見直しを行い、来年度より効果的に事業が行えるよう検討しました。 ・常設展示拡大企画「くらしを支えた手織り 葛塚織コーナー」、「むかしの道具コーナー」を新たにオープンして、地域の方々や団体見学会や小学校のふるさと学習の場として利用しました。	達成
2		資料収集、調査・研究、展示などの博物館事業について、記録、研究報告、解説などを目的とした印刷物を作成し、頒布します。	・常設展示「学習ノート」の販売 ・常設展示ガイドブックの販売 ・ガイドブック「北区のお宝ものがたり」の販売 ・企画展「木崎村小作争議100周年展」パンフレットなどの販売	刊行物などの年間販売収入(円)	141,300	103,360	147,450	110,000	322,750円	・令和4年度は、展覧会図録など新規の有償刊行物の作成が予定されていますが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ懸念されることです。2か月間の休館も予定しています。効果的なPRに努め、刊行物の販売促進を図っていきます。令和3年度の3/4程度とします。	・令和4年度は、2022木崎村小作争議100周年事業として、企画展示の開催に合わせて、展覧会の図録を作成し、販売しました。関連事業実施の際にPRを行い、販売促進に努めました。	達成
3		博物館の設置目的を達成するため、市民と協働して事業を実施します。	・市民ガイドのスキルアップ及び活動の拡充	年間講座・研修会の開催(回)	4	4	4	4	4	・スキルアップ講座及び他館ボランティアとの交流会の開催 4回 ・市民ガイドによる常設展示等の解説により、「北区の歴史と文化」をわかりやすく案内できる博物館づくりを促進します。	・市民ガイドのスキルアップと情報共有を図る目的で研修会を4回実施しました。 ・また、ボランティア活動の充実のに向けて、次年度以降のガイドの活動内容や方向性、課題解決に向けて、11月から定例会を設けて検討を行いました。 ・新たなボランティア活動の方針を検討し、次年度募集に繋げました。	達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」や常設展拡大企画の充実により、多くの市民が地域の歴史や文化を知ることができるとともに、北区の魅力を発見できる博物館づくりを目指します。</li> <li>・小学校等の「ふるさと学習」の利用や出前授業サポートなど授業と連動した博物館の活用に向け、小学校との連携を強化し、普及活動に取り組みます。</li> <li>・市民ガイドとの協働によるわかりやすい解説に努め、市民が気軽に利用できる博物館づくりを目指します。</li> <li>・各種団体・関係機関との連携を図り、様々な機会に利用できる博物館づくりを目指します。</li> <li>・農民運動として全国的に有名な有名木崎村小作争議は、令和4年度に100周年を迎えます。100周年事業として、企画展示の開催や、講演会、現地見学会、北区内中学生の見学会などの実施を予定しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は、区づくり事業2022木崎村小作争議100周年事業として、企画展示及び関連講演会、ゆかりの地を巡る見学会を実施しました。市内外から多くの方々から各事業に参加していただき、木崎村小作争議の地元の地から広く全国に向けて、周知することが出来ました。</li> <li>・分館横井の丘ふるさと資料館解体工事を実施しましたが、この資料館に収蔵していた資料(民具)を、本館ホールに常設展拡大コーナーとして「葛塚織」コーナーを設置し、収蔵資料の利活用を図りました。また、解体工事期間中、11月・12月と休館しましたが、この期間に「博物館まつり」や「こども科学展」、「松蔭賞書道展」などの事業を、より効果的な事業となるよう見直しを行い、次年度新たな事業として実施するよう検討を行いました。</li> <li>・小学校及び地域のふるさと学習の場として、小学校の教科書と連動した「むかしの道具コーナー」を新たに設置しました。このコーナーを、学校の授業の場として、また地域の方々への学習の場として活用していただきました。</li> <li>・ボランティア活動の充実のに向けて、次年度以降のガイドの活動内容や方向性、課題解決に向けて、11月から定例会を設けて検討を行いました。また、新たなボランティア活動の方針を検討し、次年度募集に繋げました。</li> </ul>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-387-1295
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	北区役所	組織名(準部・課・機関名)	区民生活課
組織の目的	区民生活課は、住民登録や印鑑登録、戸籍届、市税・保険料、国保・年金、生活環境、防犯、交通安全など区民の日常生活に関係が深く、生活の基礎的部分を支える行政窓口の一つです。区役所の顔として親切・丁寧・わかりやすい適切な対応が求められますので、幅広い知識を習得し、より適切な行政サービスを提供します。		

4

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1	1	・地域と協働し水辺環境の保全と積極的な活用を推進します。	・異常発生植物等の駆除 ・観察会・勉強会の実施 ・環境保全活動	取り組み地区数(地区)	-	2	2	2	2	2	・松浜地区ひょうたん池と岡方地区十二瀧の2地区で、地域コミュニティ協議会や地元NPO法人や小学校と協働し、自然豊かな水辺環境保全の推進を図りました。(具体的取組⇒ヒシ等の異常発生植物駆除、地元小学生が参加する観察会、遊歩道の修繕等)	達成
2		・福島潟ヨシ焼きの実施判断に係るマニュアルを作成します。 ・気象予報の精度が向上していることから、実施判断を事前に行い、効率的かつ安全な運営を図ります。	・実施判断マニュアルの作成 ・福島潟環境保全推進協議会の幹事会でマニュアル作成検討会を開催 ・マニュアル作成後は、消防署や漁協などの協力機関へ周知	マニュアル作成	-	-	-	1	1		・「福島潟ヨシ焼き事業の実施判断基準(案)」を作成し、1月26日開催の福島潟環境保全推進協議会幹事会で承認されました。(資料は事前送付し検討を依頼) ・その後、北消防署の意見を参考に若干の修正を行い完成しました。	達成
3		・地域で行う「ボランティア清掃」を支援します。	・ゴミ袋の支給 ・ごみはさみの貸与 ・収集したごみの処分 ・自治会への周知や依頼	ボランティア清掃実施件数	145	100	119	120	138		・令和2年度にコロナ禍で実施件数が減少しましたが、徐々にコロナ過前に戻りつつあります。 ・引き続き、周知や協力を依頼していきます。	達成
4		・犯罪のない安心・安全なまちづくりを進めます。	・青色回転灯搭載車による防犯パトロール	実施回数(回)	-	35	27	30	30		・東港 セーフティネットワーク8回 ・交通安全指導員等によるパトロール(兼交通安全啓発)21回 ・北警察署主催防犯活動参加(年末特別警戒)1回	達成
5		・職員の職務遂行能力を向上させます。	・各係がテーマを設けて研修会を企画し、課内研修を実施	実施回数(回)	-	4	4	4	5	<参考> ・税保係11/24＝各保険料 ・給付係12/27＝年金 ・生活係1/31＝鳥インフル ・窓口係2/15＝おくやみ、本人通知制度 ・課長補佐3/15＝会計処理	左記のとおり5回実施しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>・地域と協働し水辺の環境を保全する活動を実施し、潟や池が環境教育や自然教育の場、自主的な地域づくりの場、ふれあいの場となるよう、水辺環境づくりを推進します。</p> <p>・福島潟ヨシ焼きの実施は、天候に左右されます。多くのスタッフがかかわるため、当日に実施の判断することは非効率的です。気象予報の精度も向上していることから、事前に実施の有無を判断し効率的かつ安全に実施にできるようマニュアルを整備していきます。</p> <p>・地域でボランティア清掃を行政と協働で進めることで、住みよい生活環境を実現していきます。</p> <p>・犯罪のないまちづくりを推進するため見せる防犯活動である青色回転灯搭載車による防犯パトロールを実施していきます。</p> <p>・北区サービス憲章を遵守し、必要な職員研修の実施により職員の更なるスキルアップを図り、お客様から満足していただける窓口サービスを図ります。</p>	<p>・「地域と協働した水辺環境の保全」では、十二瀧とひょうたん池の2ヶ所で地元NPO協や小学校と協働した取り組みができました。また、十二瀧の活動が新潟県環境賞大賞を受賞しました。これは活動している地域住民や子どもたちの励みになりました。次年度以降は瀧川自然生態観察園を加え新規の区づくり事業を進めていきます。</p> <p>・「福島潟ヨシ焼き実施判断マニュアル作成」では、「安全配慮義務」を履行する内容で、気象情報やヨシ原の状況を把握しながら、客観的に明確な判断ができる基準となりました。</p> <p>・「ボランティア清掃の支援」では、対前年度比で10件以上の増となり、コロナ禍以前に戻りつつある状況となっています。引き続き自治会等に協力を願っています。</p> <p>・「犯罪のない安心安全なまちづくり」では、予定した30回の青パト活動を実施しました。来年度も年間29回以上の活動を確保し、北区の安心安全を推進します。</p> <p>・「職員の職務遂行能力の向上」では、予定した回数以上の研修会を開催できました。内容はタイムリーなもの、毎年継続すべきもの、そして「会計処理」については、職員全体に不足しているものとして実施しました。今後も継続していきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-387-1325

年度	令和4年度		
組織名(部)	北区	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	地域コミュニティ協議会や福祉関係機関、民生委員、区社会福祉協議会などとの協働により、支えあいの仕組づくりの指針である「北区すこやか・あんしん・支えあいプラン2021(北区地域福祉計画・地域福祉活動計画)」の基本理念の「だれもが安心して健康で暮らせる北区」を目指します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		つながり、交流し、支えあう地域づくりを推進するため、北区地域福祉計画・地域福祉活動計画の普及・啓発を進めるとともに取組事業の進行管理を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会」を開催</li> <li>各地域コミュニティ協議会や区社会福祉協議会など福祉関係機関等との協働により福祉座談会を開催</li> </ul>	推進策定委員会開催(回) 地域福祉座談会開催(回)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会3回(内、書面開催1回)</li> <li>座談会8回</li> <li>講演会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会2回</li> <li>座談会7回</li> <li>(1地区はコロナのため開催できず)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会2回</li> <li>座談会8回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会2回</li> <li>座談会8回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進委員会2回開催</li> <li>地域福祉座談会(各8コミュニティ協議会)の開催(8回開催)</li> </ul>	・地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を2回開催し、計画推進のための取組について報告・協議しました。 ・地域福祉座談会は、区社会福祉協議会と協働し、各コミュニティ単位で8回開催しました。 ・上記対応により、地域福祉計画と地域福祉活動計画の推進を行いました。	達成
2		健康で安心・安全な住みやすい地域づくりを推進するため、健康寿命の延伸に向けて、特定健診の受診率を向上させるとともに、生活習慣病の重症化予防を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診カレンダーの全戸配布</li> <li>未受診者に対する受診勧奨</li> <li>健康教育など地域活動時の声かけ</li> <li>ミニドック型集団健診の実施</li> <li>高血圧及び高血糖に注目した健康講座の開催</li> </ul>	特定健康診査受診率(%)	33.83% (4,581人)	31.61% (4,180人)	26.81% (3,569人)	33.83% (R1実績と同程度)	23.58% (3,023人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関まわりで受診勧奨の協力依頼</li> <li>未受診者及び新規国保加入者へ架電による受診勧奨の実施</li> <li>ミニドック型集団健診を3日間実施</li> <li>健康教育や地域の会議等で受診勧奨実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託医療機関を回り、直接医師に区の現状を伝え、受診勧奨の協力依頼を行いました。</li> <li>受診率は、市平均を下回っていますが、昨年度同時期と比較すると、2.05%増加しています。</li> <li>健診カレンダーの全戸配布、看護職による架電での受診勧奨(634名)、また、新規国保加入者への受診勧奨(162名)を実施、ミニドック型集団健診を2会場3日間で実施、コミ協や学校への声かけや健康教育などを実施し、受診率の向上に努めました。</li> </ul>	一部未達成
				生活習慣病予防講座開催数(回)	7回	4回	6回(1回はコロナのため開催できず)	7回	6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師による血糖・動脈硬化の公開講座含む2回コースを1回</li> <li>高血圧・動脈硬化予防教室は2回コースを2会場実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開講座を含む2回コースを1会場、2回コースを2会場で実施しました。</li> <li>教室参加者に尿中ナトリウム検査を実施した結果、推定食塩摂取量の平均は、教室参加前に比べて参加後で減少していました。</li> </ul>	達成
3	3	健康で安心・安全な住みやすい地域づくりを推進するため、高齢化の進展に伴い、増加が予想される認知症患者を早期に発見し、早期治療につなげます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>もの忘れ検診の実施</li> <li>検討会の実施</li> <li>認知症に関する啓発</li> <li>地域の茶の間などのリーダー養成</li> <li>フレイル予防事業</li> </ul>	受診者数(人)	1,150人	979人	876人 (R4.3末現在)	1,000人	812人 (R5.2末現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数は昨年度と比べると微増しています。要経過観察、要精密検査全員には地域包括支援センターが関わり、必要なサービス利用につなげることができました。</li> <li>検診実施医療機関検討会(リモート)を開催し、受診状況と受診者数の向上について検討しました。</li> <li>医師会15班会議にリモートで2回実施状況を報告しました。</li> <li>包括支援センター会議で実施状況を報告し、検診に対する要望など意見交換を行いました。</li> </ul>	一部未達成	
				地域での認知症予防講座開催数	7	15	15 (R4.3末現在)	15	20回 (R5.3末現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>サロン等に作業療法士(職員)・運動普及推進委員が出向き20回の予防講座を実施し237人(R5.3末現在)の参加がありました。</li> </ul>	達成	
				フレイルチェックの実施回数	—	2	3(1回はコロナのため開催できず)	6	6回 (R5.3末現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3会場で実施(1会場は新規)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北地区、葛塚地区、岡方地区(R4新規開催)で、9月と3月に各コミュニティセンターを会場に実施しました。155人が参加しました。</li> </ul>	達成



No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標	
4	3	つながり、交流し、支えあう地域づくりを推進するため、地域の中で世代間が交流し、子育てを支えあう取組を行います。	・支援拠点施設等での子育て支援講座の実施 ・SNSによる北区の子育て情報の配信 ・地域での子育てを地域で支え合う体制づくり ・児童の福祉向上に寄与するイベントの実施	子育て支援講座の実施回数 ※3講座	—	—	12(NP講座6回は新型コロナウイルスのため開催できず)	12	12	12	・傾聴スキル習得講座4回 ・北区ババースクール2回 ・NP講座12回(R4は6回を予定)	・保育士など子育て家庭への支援者向け講座である傾聴スキル習得講座、パパ向け支援講座、子育てをはじめる保護者向けの講座と多面的に子育て支援講座を開催することにより、子育て家庭への支援をおこないました。	達成
				子育て応援カフェの実施回数	10	11	9(2回は蔓延防止措置につき開催できず)	多世代交流カフェ11回 子育て支援講座4回	多世代交流カフェ9回 子育て支援講座5回	・令和4年度より子育て応援カフェから多世代交流カフェへと新規取組	・早通健康福祉会館にて多世代交流カフェを9回実施しました。 ・子育て支援講座は4回開催予定のところ、駄菓子屋の企画が好評であり、2回目を実施し目標を超える5回の開催をしました。	達成	
				北区ふゆっこまつりの開催	中止	縮小開催	内容を変更して開催	イベント開催を目指し内容検討	開催	・実行委員会で開催内容検討	・絵馬工作キットの配布、展示、フオスポットの設置を行います。2月23日には北区文化会館にて演劇鑑賞を実施し、子ども達へ観劇の機会の提供を通し、児童の健全育成に取り組まれました。また子育て支援に関わる方同士のネットワークづくりに繋がりました。	達成	
5	3	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくりを推進するため、介護について学んでいる大学生と連携し、介護の基本的知識やスキルを身に付けてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深めます。	・大学生による家庭介護セミナーの実施	地域での大学生による介護セミナー実施回数		2	2	2	2	移動介助の基本をテーマに2回実施	・2月18日と19日に、セミナーを開催した。コロナ禍の影響で定員は少なめですが、学生との交流を通じて介護に関する知識や技術をより深めていただける機会になりました。	達成	
6		より良い市民サービスの提供のために、職員の能力を向上させるとともに、継続的に業務改善を行います。	・各係の業務などに関する課内研修の実施 ・生活保護など専門分野の研修会へ積極的な参加	研修実施(参加)数(回)	10	16	16	16	20		・課内研修を3回、係内研修17回開催し、職員の資質向上に貢献しました。	達成	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>個人や地域の抱えている問題は多岐にわたり、複雑化しているなか、区民や自治会、コミュニティ協議会、民生委員・児童委員、ボランティア、NPO、福祉事業所などと共に、社会福祉協議会と連携・協働し、相互に支援し課題を解決していく「支えあいのしくみづくり」をさらに進めながら、「地域共生社会」の実現に向け取り組みます。</p> <p>健康で安心・安全な住みやすい地域づくりを推進するため、引き続き、健康講座の開催を通して高齢者自らが介護予防に取り組めるよう支援し、区民の介護予防と意識の啓発を図るとともに、健康寿命の延伸につなげます。特定健診では、健診カレンダーの全戸配布のほか、委託業者による架電や保健師の訪問など、積極的に未受診者への受診勧奨を行い、受診率の向上を図ります。</p> <p>また、健診と同時に実施しているもの忘れ検診も継続実施し、要経過観察者・要精密検査者を早期に発見し、適切なサービスの利用や専門医療機関への受診につなげます。</p> <p>つながり、交流し、支えあう地域づくりを推進するため、支援拠点施設等での子育て支援講座の実施やSNSによる北区の子育て情報の配信などを行い、子育てを支えあう取組を行います。</p> <p>だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくりを推進するため、学生を講師とした認知症への理解を深めるセミナーを行い、介護知識・技術を身に付けた人が増加し、健康寿命の延伸と要介護・要支援認定者数の増加抑制につなげます。</p> <p>また、より良い市民サービスの提供を目指し、今後も、継続的な業務改善や研修等による職員の資質向上に努めます。</p>	<p>「北区すこやか・あんしん・支えあいプラン2021」の計画推進のための今年度取組状況について推進委員と協議し、新型コロナウイルス感染症対策を含め、だれもが安心して健康で暮らせる北区を目指しました。今後も、計画の普及・啓発を進めるとともに取組み事業の進行管理を行っていくとともに各地区の座談会で出された課題等を精査し、地域福祉計画に盛り込んでいきます。</p> <p>もの忘れ検診については、コロナ禍において、特定検診の受診率が低迷しており、様々な取組みを実施しているが、受診者数は減少しています。しかし、認知症の発生が一番多いとされる70代・80代の方が連続受診していること、要精密検査・要経過観察者全員に対し地域包括支援センターが訪問し、かかりつけ医とともに地域の支援体制を構築しています。今後も、医師会と連携し取組んでいきます。</p> <p>子育て支援講座については、コロナ禍ではあったが、予定回数・参加人数を工夫しながら実施しました。今後も、地域の中で世代間が交流し、子育てを支えあう取組を行います。</p> <p>大学生による家庭介護セミナーは、コロナ禍の影響を受け定員は少なく設定したものの、学生と地域とのコミュニケーションを図ることができ同様の取組みが大学・地域で継続される素地づくりができたと考えています。</p> <p>引き続き、より良い市民サービスの提供を目指し、継続的な業務改善や研修等による職員の資質向上に努めます。他課の窓口職場とも連携し窓口サービスの充実を図っていきます。</p>

# 組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-387-1781

年度	令和4年度		
組織名(部)	北区	組織名(準部・課・機関名)	北地域保健福祉センター
組織の目的	住み慣れた地域で生き生きと安心して暮らせるように、質の高い保健福祉サービスの提供と、健康づくりの普及・啓発を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果				
1		妊娠から出産後の切れ目ない子育て支援を行います。	・月1回の支援検討会の充実 ・支援を要する対象者への妊娠からの継続的な支援の実施 ・ケースワーカーと保健師と連携した支援	支援を必要とする妊産婦に対する相談及び訪問を実施した数(人)	必要な対象者への支援 100%	対象者に対しての全数	対象者に対しての全数	対象者に対しての全数	対象者に対しての全数	対象者に対しての全数	・検討会で全妊婦の母子手帳交付時の状況を確認し支援が必要か決定します。 ・新生児訪問結果から産後新たに支援が必要になった人の振り返りを含めた検討会を充実します。 ・障がい福祉サービス等円滑な利用につなげます。	・月1回の検討会で全妊婦の検討と全新生児訪問記録を確認し支援に必要な妊産婦の支援方針を決定し、さらに相談及び訪問状況のモニタリングを行う。延316人。 ・医療依存度の高い方や障がいのある方については、ケースワーカーと保健師が協働して、必要時各種制度の利用につなげます。	達成
2		健康寿命の延伸や介護予防に向けて、自ら予防できる市民を増やし、健康で暮らせる地域づくりを推進します。	・保健事業や依頼健康教育など地区活動時の声かけ ・医療機関に健診受診勧奨の協力依頼 ・コミュニティ協議会等と連携した生活習慣病予防教室の開催 ・特定保健指導の未利用者訪問 ・運動講座の開催 ・関係機関と連携した、健康寿命延伸に関する知識の普及啓発	コミュニティ協議会と連携した生活習慣病予防講座の開催回数(回)	—	—	—	—	2	2	・コミュニティ協議会等地域の協力を得て実施し、健康づくりの機運を地域に醸成します。	・コミュニティ協議会と協議しながら、生活習慣病予防講習会を計画しており実施することができた。	達成
				生活習慣病予防をテーマにした健康教育(回)	—	16	19	17	21	・各種保健事業や地区活動で地区データを活用した健康教育を実施します。	・がん検診や地域の茶の間、子育て支援センターに対し、検(健)診データを基に各種がん検診や特定健診の北区の現状や受診の必要性、生活習慣病予防について普及啓発を行った。また、医療機関等関係機関に普及啓発や受診勧奨の協力依頼を行った。	達成	
3		市民視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組みます。	・窓口業務や個別ケース支援の質の向上	障がい福祉サービス申請や介護保険サービス申請等OJTによる研修会の開催(回)	—	6	7	6	6	6	・主要な窓口業務についてOJT研修を行い迅速かつ正確に窓口対応ができるようにします。	・母子保健、特定健診、介護保険、障がい福祉、難病等の窓口業務について、研修会を開催した。	達成
				困難ケースの事例検討を実施(回)	—	3	7	6	6	・特定妊婦・児童虐待等処遇困難事例を検討し職員のスキルアップにより市民への支援の質の向上を図ります。	・特定妊婦や児童虐待、障がい者等の困難ケースについて事例検討を行った。 ・職員の支援の質の向上と市民目線にたった窓口対応を実施することにつながった。	達成	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>住み慣れた地域で、健康で安心・安全な住みやすい地域づくりを推進します。</p> <p>子どもを安心して産み育てることができるように、今年度も引き続き定期的な支援計画の検討を行い、妊娠から出産後の切れ目ない子育て支援を、健康増進係とマタニティナビゲーター・所属職員が一体となって取り組みます。</p> <p>健康で暮らせる地域づくりを推進するため、今年度は、新たに地域のコミュニティ協議会と連携を強化し、協力して生活習慣病教室を開催するとともに地域ぐるみの健康づくりに取り組みます。また引き続き、健康教育や健康相談・家庭訪問を行い、さらに関係機関と連携して生活習慣病予防や介護予防の意識啓発を図るとともに健康寿命の延伸につなげます。</p> <p>また、よりよい市民サービスの提供を目指し、窓口業務や相談、支援の質の向上に努めます。</p>	<p>・妊娠から出産後の切れ目ない支援子育て支援では、健康福祉課健康増進係母子担当保健師、マタニティナビゲーター、家庭児童相談員と全妊産婦、新生児等支援を必要とする対象者を検討することで切れ目ない支援を実施することができた。今後も引き続き検討会を行い子どもを安心して産み育てることができるように取り組みます。</p> <p>・健康寿命延伸や介護予防の取り組みでは、既存の保健活動や関係機関と連携し、地区の健康課題、健(検)診受診率向上や運動習慣が定着するように普及啓発を行った。今後も引き続き、地域のコミュニティ協議会等関係機関と協働し健康づくりの機運の醸成を進めます。</p> <p>・市民サービスの向上では、市民目線にたった窓口対応ができるように研修会で、注意事項の共有を行いました。困難ケースの事例検討では、よりよい支援が行えるように検討しました。今後も、引き続き、研修会や検討会を開催し、サービスの質の向上を図ります。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-387-1356
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	北区	組織名(準部・課・機関名)	産業振興課
組織の目的	関係団体と連携して産業の振興を図り、地域経済の活性化を促進します。 また、地域の特徴を活かした取組による商店街等の活性化や保安林の保全、スポーツや文化の振興、農業者の所得向上の推進を通じて、地域の課題解決に取り組みます。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1	2	地域商業活性化に向けた取り組みを行い、新規誘客及び賑わいの場創出を目指します。	地域商業賑わい創出プロジェクトとして ・うまいもん市場の開催 ・こらっせ松浜市の開催 ・北区役所新庁舎を活用した魅力創出プロジェクトの実施	地域ごとのイベント等の実施(回)	3	4	5	3	3	・葛塚エリア、松浜エリアにおける賑わい創出に向けた取り組みを引き続き関係団体と連携して行います。 ・新たに北区役所新庁舎を活用したイベントの実施し、区民が親しめる場の提供を図ります。	・豊栄地域の「うまいもん市場」(13回)や、北新湯地域の「こらっせ松浜市」(2回)を、露店市場の開設に合わせて行いました。 ・また、区役所周辺の施設と連携した、「キテ・ミテ・キタ区役所」を開催しました。 ・各イベントとも多くの来場があり、賑わい創出につながりました。	達成
2		海岸保安林の機能を維持するため、官民一体となった保全活動を推進するとともに、森林資源や環境を有効に活用します。	・下草刈などの保全活動の実施  ・コミュニティビジネスの活動支援	保全活動の実施(参加人数)	161	157	193	160	225	充実した作業内容を参加者に提供するために、活動1回あたり40人程度を目標に、4回活動する予定とします。	・作業内容を工夫し、当初予定よりも多くの方から参加してもらうことができました。	達成
				イベント等での出店(回)	-	-	-	1	1	取組を広く知ってもらうため、イベントへの出店や自主的な催しを活動組織と共に計画します。	・初の試みとして、外部イベントに出店し、不特定多数の方に取り組みを知ってもらうことができました。	達成
3		スポーツ活動を通じたスポーツを愛好できる機運を醸成するとともに、文化・芸術事業による賑わいの創出と地域の活性化を図ります。	区スポーツ協会などと連携して ・競技別大会の実施 ・ニュースポーツの体験会 ・スポーツレクリエーションの実施  ・市民・指定管理者・行政の協働による北区文化会館の利用促進	参加者数(人)	1,928	813	870	1,900	1,534	・多くの人が参加できるよう、指定管理者や関係団体と連携して取り組みます。引き続き身近な場所で行える運動の普及を図ります。 ・令和元年度(新型コロナウイルス感染症の流行前)実績の水準を目標とします。	・ニュースポーツ体験会などのエンジョイスポーツやレクリエーション事業を実施しました。 ・目標は未達でしたが、令和3年度比1.08倍となり、コロナ禍以前の水準に近づけることができました。 ・各種有料公演を実施した他、ロビーを活用した企画展や特別支援学校の作品展を開催するなど、区民が身近に利用できるよう努めました。	未達成
				年間利用者数(人)	78,023	33,450	49,642	78,000	73,070	・県内有数の産地である、トマト栽培におけるICT技術の普及に向けてモニター農家による栽培実証(養液土耕栽培システム・環境モニタリングなど)を実施します。	・目標未達でしたが、令和3年度比1.47倍となり、コロナ禍以前の水準に近づけることができました。	未達成
4		農作業の省力化や農産物の高品質化による付加価値向上を図り、「儲かる農業」の実現を目指します。	・農作業の省力化、品質の標準化を図るため、ICTを活用した新技術の普及に向けた栽培実証の実施  ・フードメッセ等のイベントへの参画、メディアなどを活用し、北区特産農産物の認知度向上、新規販路拡大に取り組む	栽培実証数(件)	-	-	1	2	3	・北区農業振興協議会事業(各種イベントへの特産農産物協賛) ・北区特産物研究協議会事業(しるきーも販促活動等) ・キテミテキタトマト販売促進協議会事業(メディアなど販促活動等)	・地域のベテラン農家をモニターに、養液土耕栽培の栽培実証を行うとともに、環境モニタリング機器で栽培環境データを見える化し、産地の栽培技術向上に向けた検討資料を得ることができました。	達成
				各種イベントへの参画・協賛(回)	-	-	-	5	10	・各種メディア露出などの販促活動を通じて、北区特産農産物の魅力発信と認知度向上に取り組まれました。	達成	

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>新型コロナウイルス感染症が終息していない状況にあっても、活力ある産業のまちを目指し、商工業、農林水産業、スポーツ・文化の団体等と連携しながら、地域の活性化に取り組む、コロナ禍で落ち込んだ分野についても、コロナ禍以前の水準となることを目指します。</p> <p>商工業分野では、地域ごとの特徴を活かした商品開発やPRを支援し、地域経済活性化に結び付けます。 官民一体となって海岸保安林を活用した取り組みを進めることで、保安林の機能維持や交流人口の拡大に繋がります。 誰もが安心して気軽にスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、北区文化会館やビュー福島潟などの文化・芸術を担う拠点施設を活用し、北区の自然や特色を広く発信することにより、にぎわいを創出します。 農業分野では、新技術の普及や農産物のブランド力強化によって収益性の向上や担い手の確保を図り、地域経済の活性化につなげます。</p>	<p>商工業分野では、各地域で実施する事業に学生ボランティアが多く参加し、活気あるイベントになりました。特に北区役所新庁舎を活用したイベントでは、官民一体となった新たな取り組みを行い、新規誘客と賑わい創出が図られました。次年度以降も創意工夫した取り組みを進め、地域商業の活性化につなげていきます。</p> <p>多くの方から海岸保安林の保全活動に参加いただくことができました。文化・スポーツ分野では、昨年からの新しい取り組みである北区文化会館のロビーを活用した企画展などを引き続き実施した結果、コロナ禍以前の水準へ近づけることができました。次年度以降も安心して施設をご利用いただけるよう感染防止対策を進め、コロナ禍以前の水準に戻すよう取り組んでいきます。</p> <p>農業分野では、ICT機器の活用により、農作業の省力化や作物の高品質化が実証され、付加価値向上につながりました。次年度も「儲かる農業」実現に向けてICT農業を普及させる取り組みを進めていきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-387-1405

年度	令和4年度		
組織名(部)	北区	組織名(準部・課・機関名)	建設課
組織の目的	多種多様化する市民ニーズに迅速かつ適切に対応し、市民満足度の向上を図るとともに、地域の生活基盤である道路や公園の維持管理に努め、安心・安全な住みよいまちづくりを進めます。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		新崎駅自由通路両側にエレベーターを設置し、児童の通学路や避難路としての利便性向上と安全性の確保を図ります。	・南口エレベーターの工事発注 ・JRや本庁など庁内外の関係機関との協議	・南口エレベーターの工事発注		業務委託の発注	実施設計業務委託を発注	南口の工事発注	南口の工事発注	・遅滞のないJRとの協議による確実な工事発注の実施	JRとの協議に時間を要しましたが、11月中旬に回答があり、工事発注の条件が整ったことを受け、速やかに南口エレベーター設置工事の発注準備を進め、12月に発注しました。	達成
2		松浜海岸の飛砂被害の軽減と暮らしやすい環境づくり、地域の問題を共有するため、官民協働での植栽等を行います。	・官民協働による植栽等の実施(地元小学校・住民、国土交通省、新潟市) ・実施に向けた地元及び関係機関との調整協議	目標参加人数:200人以上			200	200	200	・区づくり事業(令和3年度~5年度) ・参加人数=官+民	地域住民や、松浜小学校の児童などとともにアキグミ植栽を行い、参加人数200人を達成しました。	達成
3		上半期の高い工事発注率を維持します。	・工事の早期発注 ・余裕のある工期の確保	上半期の工事発注率(%) (発注件数/当初計画件数)	91.4	89.8	94.2	85.0	97.3	自治会要望等により個所付けされた当初工事計画件数を対象とした上半期発注率85%以上 (対象工事74本:維持36本、整備38本)	上半期において、発注率97.3%(74本のうち72本を発注)と目標を達成しており、追加工事の発注や工程管理を余裕をもって行うことができました。	達成
4		研修等に参加し自己研鑽に努め、より良い市民サービスを提供します。	・課内研修における情報の共有化(参加した研修内容や各係の業務等) ・プレゼン能力の向上	研修発表実施数(回)			7	6	6	・計画的な課内研修の開催 ・各係、グループごとに代表者が2回以上発表 (管理係・維持係・まちづくりグループ)	スケジュール調整しながら参加した外部研修の内容や、通常業務についてなど、目標値の発表数を実施できました。 (管理係:2・維持係:2・まちづくりG:2)	達成
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>住民要望がある新崎駅自由通路両側にエレベーターを設置し、利用者の利便性と安全性の向上を図るため、今年度から南口エレベーターの工事を実施します。</p> <p>地域の問題の解決に向け官民協働で植栽等を実施し、多くの方に参加してもらうことで、地域の問題を共有し、自ら取り組むことにより、地域の活性化及び地域への愛着や誇りがもてる環境づくりを図ります。</p> <p>道路や公園の整備を実施するにあたり、余裕のある工期設定による品質確保や、作業効率が悪く事故発生の可能性が高い冬期工事を回避するため早期発注に努めます。</p> <p>職員が研修会等に参加して得た知識を共有化して、業務に活かすため課内研修を開催し、発表する機会を設けることでプレゼン能力の向上を図ります。</p>	<p>令和3年10月より開始した新崎駅自由通路南口及び北口のエレベーター設置にかかるJR協議が、令和4年11月に完了したことから、南口エレベーター設置工事を12月に発注しました。次年度は、北口エレベーター設置工事を発注し、早期の完成(供用)を目指します。</p> <p>松浜海岸の飛砂対策として行っているアキグミの植栽は、予めテープで区画割をして効率よく密植となるように行いました。また、児童自ら育てた挿し木の苗木も植栽してもらい、活動の意識を高めました。</p> <p>作業条件の良い上半期での早期工事発注を実施し、余裕のある工程管理と品質確保に努めました。また、12月の除雪業務に影響されることなく、追加工事を含め全工事を発注することができました。</p> <p>スケジュール調整しながら課内研修を実施し、外部研修及び通常業務の内容について、座学だけでなく、現場講習も行いながら知識の共有を図りました。なお、窓口業務及び現場対応等があるため、毎回2部構成で職員全員が参加できるよう開催しています。</p>



組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-387-1705
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	北区役所	組織名(準部・課・機関名)	北出張所
組織の目的	北区サービス憲章のもと、職員の資質向上と意識改革を図り、市民満足度の高いきめ細やかな行政サービスの提供に努め、地域の身近な行政窓口として、市民から親しまれ信頼される出張所・連絡所を目指します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価			
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標	
1		迅速・丁寧・正確な窓口対応に努め、市民サービスの向上及び業務の効率化を図るため事務改善を行います。	・窓口アンケートの実施 ・窓口アンケートの意見等を参考に課題を把握し、窓口事務や内部事務の改善・提案を実施	窓口事務・内部事務に係る改善提案件数(件)	6	4	4	4	4	4	・2係及び2連絡所がそれぞれ1件以上の改善提案	窓口アンケートの結果等を踏まえた対策をはじめ、各係・連絡所から市民視点による4件の改善提案が実施され、市民の利便性の向上とともに事務の効率化にも成果を上げることが出来ました。	達成
2		質の高いサービスを提供し、係を超えた複数の業務を行うことができるよう、職員の実務能力の向上に取り組めます。	・業務専門研修への参加と職場内伝達研修の実施 ・係間及び出張所・連絡所間の相互応援体制充実のための職場内研修の実施 ・他出張所との交流研修等	各種研修会・講習会等への参加延べ回数(回)	53	68	74	68	126	126	・研修対象職員1人平均4回以上の研修・講習会等に参加	コロナ禍における研修形態の変化に対応しながら職員が研修に参加できる環境を確保し、職場内研修や出張所・連絡所交流研修など、目標の参加延べ回数を上回り、職員の実務能力と窓口サービスの向上につながりました。	達成
3		地域課題等の情報を共有しながら、地域コミュニティの活動を支援します。	・地域団体の支援及び会議や行事への参加	各地域団体の会議・行事等への参加または支援した件数(件)	48	70	88	70	76	76	・地域コミュニティ協議会(松浜地区・南浜地区・濁川地区) ・自治振興会(松浜・南浜地区・濁川地区) ・北地区連合自治振興会 ほか	コロナ禍の影響が続いているため、まだ例年の行事など活動が戻っていないものの、地域団体の行事や会議等に積極的に参加するとともに、地域から寄せられる各種相談ことや会議の打合せ等にも積極的に対応しながら、地域団体の活動支援に努めました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
「北区サービス憲章」を念頭に、出張所及び連絡所は地域に最も身近な行政窓口であることを常に意識し、市民ニーズの把握に努めながら、より質の高い市民サービスを提供します。職場内環境の改善や事務改善を常に心がけるとともに、窓口業務に必要な各種研修や講習会などに積極的に参加するなど、職員個々の資質の向上に取り組めます。また、市民とのコミュニケーションを大切にし、地域課題等の情報を共有しながら、自治会や地域コミュニティ協議会等の活動を支援します。	目標達成のため、各窓口にて北区サービス憲章を掲げ、職員一人ひとりが常に目標を意識し、市民満足度の向上に努めました。窓口アンケートの結果や日常業務での課題等を踏まえた改善提案を所内全体で情報共有するとともに、検証及び意見調整を行い、市民視点に立った改善に取り組みました。また、窓口アンケートでは概ね好意的な意見が多く寄せられましたが、引き続き、よりよい窓口サービスの向上を目指していきます。職員の窓口対応能力や資質の向上に取り組むため、コロナ禍における研修形態の変化に対応しながら、研修会等に参加できる環境を確保することや積極的な参加を促したことで、職員個々のスキルアップの機会を得ることができました。今年度もコロナ禍の影響により例年開催される地域団体の会議や行事が戻っていないものの、地域に最も身近な行政窓口であることを常に意識し、地域から寄せられる相談ことなどには真摯に対応しながら、地域活動を支援していきます。今後も職員の資質向上を図るとともに、丁寧に正確なサービスを提供し、地域の身近な行政窓口として、市民から親しまれ信頼される出張所・連絡所を目指します。